



市民遺産を観る・知る・歩く 3月18日(土) 開催 第7回太宰府市景観・市民遺産会議

市民遺産会議 — 市民交流会 —

太宰府の景観と市民遺産をちよつと詳しく知ることができるといふ一日です。

午前の部

歩く ■ 景観・市民遺産を歩く①

第3号 かつてあった道 四王寺山の太宰府町道

集合 太宰府小学校正門前大町公園(午前8時50分集合)

コース 太宰府小学校〜四王寺山の太宰府町道〜太宰府館(正午到着)

備考 山道を歩きます。歩きやすい靴と汚れても良い服装でご参加ください。雨天中止。

参加費 無料 ※準備の関係上、事前に申し込みのうえでご参加ください。ただし、当日参加でも受付いたします。中止の場合、事前申込者のみ連絡いたします。

申し込み方法

住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記のうえ、ハガキまたはEメールでお申し込みください。

応募締め切り 3月13日(月)必着

申し込み 〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目1番1号 太宰府市教育委員会文化財課

お問い合わせ bunkazai@city.dazaifu.lg.jp

お問い合わせ 文化財課(☎内線472)

午後の部

会場 太宰府館3階まほろばホール

開場 午後零時30分

開会 午後1時

終了予定 午後5時

第3回だざいふ景観表彰式

観る ■ 紙芝居『かるかやのせき 石童丸ものがたり』(かるかや物語を伝える会)

知る ■ 「太宰府悠久の丘」活動の発表 (畑)太宰府メモリアルパーク

■ 「木うその世界」 (太宰府木うそ保存会)

■ 「朝堂が歩いてきた道」 (NPO法人歩かんね太宰府)

歩く ■ 「景観・市民遺産を歩く②」 (参道界限を歩く)

午後の部は、観覧無料。申し込み不要。出入り自由です。お気軽にお越しください。

お問い合わせ 文化財課(☎内線472)

午後の部で表彰!

第3回だざいふ景観賞 受賞作品の紹介

「太宰府の景観を作っている素敵な作品」として応募いただいた全10作品について、市民人気投票を行い、投票結果を参考意見として選考を行った結果、次のとおり各賞が決定しました。

※審査員：太宰府市景観・市民遺産審議会委員(有識者・市民代表などによる15人)

表彰式は「第7回太宰府市景観・市民遺産会議」にて行います。(敬称略)

■ 第3回だざいふ景観大賞および市長賞(W受賞) 観世音寺(観世音寺五丁目)

所有者 石田琳彰(いしだりんしょう)

古代大宰府の大寺として、また江戸時代には宰府の名刹として知られ、今もその景観が保たれている。景観保全には、ご住職による私財を投じた金堂・講堂修理、奉賛会による昭和34年の宝蔵建設など多くの人が関わり景観が保たれているとして選定される。

■ 景観賞 小野筑紫堂お庭(宰府二丁目)

所有者 小野洋子(おののようこ)

満宮参道の緑を維持し、参道沿いの建築物にあつた中庭の風情を今に伝え、参道緑化の指針的存在として景観賞に選定される。また、参道から観ることができるといふ点も評価されている。

■ 特別賞 内山の赤煉瓦壁のある農村風景(大字内山)

煉瓦壁所有者 松田良治(まつだりょうじ)

赤煉瓦壁と木造建築、そして家々の間を通る小道が、かつてあつた農村風景を今に伝えるとして特別賞に選定される。

お問い合わせ 都市計画課景観・歴史のまち推進係(☎内線424)

